

作成日 2025 年 8 月 29 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 2025-1-559

課題名 : 統合失調症と緑内障における網膜菲薄化・血管病態機序の異同解明を通じた診療技術開発

1. 研究の対象

2021年9月～2030年10月31日までに当院で「治療抵抗性統合失調症の病態解明と新規バイオマーカー開発に向けた包括的アプローチ」(倫理委員会承認番号:2025-1-287)の研究に参加された方。

「眼科検査情報と環境・多層生体情報統合データベースを活用した個別化医療創成研究」(倫理委員会承認番号:2025-1-352)の研究に参加された方。

2. 研究期間

2025年10月(研究実施許可日)～2030年9月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日:2025年10月30日

提供開始予定日:該当なし

4. 研究目的

本研究は光干渉断層計(OCT)を使用して、統合失調症患者、緑内障患者、健康者の視神経乳頭部、黄斑部の網膜菲薄化パターン、微小血管密度の違いを明らかにすることを目的に行います。緑内障患者と統合失調症患者における網膜病変の相違を明らかにすることで、両疾患に共通する神経変性の特徴や病態連関を解明する手がかりとなる可能性があります。特に、緑内障患者における統合失調症の発症リスクが高いことが報告されていることから、本研究の成果は、緑内障患者における統合失調症の早期発見や介入の基盤となる知見が得られる可能性があります。

5. 研究方法

この研究では、すでに行われた2つの研究に参加した方々から集められたデータを使います。

- 「治療に反応しにくい統合失調症の病気のしくみや新しい検査方法を探す研究」
- 「眼科の検査データと体や生活に関するデータを組み合わせて、よりよい医療をつくる研究」

これらに参加した統合失調症の患者さん、緑内障の患者さん、健康な人の目の画像データ(OCTとOCTA)を利用します。研究の目的は、統合失調症に特徴的な「目の変化(バイオマーカー)」を見つけることです。

検査と解析の内容

① 眼の検査

- 視力(どれくらい見えるか)
- 眼圧(目の中の圧力)
- 目の前の部分や奥の写真
- 視野(見える範囲)

これらの基本的な検査データを使用します。

② OCT(光干渉断層計)の解析

OCTは、目の奥にある網膜の厚さを詳しく調べる検査です。

- 視神経や黄斑(ものを見る中心)の部分を細かく分けて厚さを測ります。
- 特に「黄斑の中心の厚さ(CMT)」を重視します。
- 統合失調症と緑内障の患者さんを比べて、網膜がどの部分で薄くなるかを調べます。

③ OCTA(OCT 血管造影)の解析

OCTAは、網膜にある細い血管を写し出す検査です。

- 視神経や黄斑を分けて、血管の密度を調べます。
- 黄斑の真ん中にある「血管がない部分(FAZ)」の大きさも測ります。
- 統合失調症と緑内障の患者さんを比べて、血管の分布の違いを調べます。

このようにして、統合失調症の人の目に見られる特徴を明らかにし、将来の診断や治療に役立てることを目指しています。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：視力検査、眼圧測定、前眼部検査、眼底検査、視野検査結果、OCT、OCTAの測定データ等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本研究は本学単独研究である

9. 利益相反(企業等との利害関係)について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は令和4年度科学研究費基盤研究(C)(研究代表者：小松浩、研究課題名：網膜解析を中心とした早期治療抵抗性統合失調症の生物学的指標探索と脳神経基盤の解明)、先進医薬研究振興財団 精神薬療分野 一般研究助成(2024年12月 - 2025年11月)(研究代表者：小松浩、研究課題名：統合失調症と緑内障における網膜菲薄化・血管病態機序の異同解明を通じた診療技術開発)、令和7年度科学研究費若手研究(研究代表者：小野口豪、研究課題名：精神疾患横断的網膜イメージングによる個別化医療に向けた新たな診断基準の探求)の研究費、及び、寄付金(精神科統合失調症研究助成金および精神科教室臨床研究助成金)を使用します。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学病院精神科 小松 浩

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

連絡先：022-717-7272

hkomatsu109@gmail.com

当院の研究責任者：東北大学大学院医学系研究科 精神神経学分野 富田 博秋

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

- 1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

- 2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合